

## 第1回 湖西市地域公共交通会議 会議録

日 時：平成30年6月26日（火） 10時00分～

場 所：湖西市民活動センター2階大会議室

出席者：23人

会長	田中 伸弘	湖西市副市長
副会長	佐原 秀直	湖西市企画部長
座長	伊豆原 浩二	愛知工業大学 客員教授
委員	鈴木 篤人（代理）	遠州鉄道株式会社 運輸業務部長
委員	辻村 嗣直（代理）	浜松バス株式会社 代表取締役
委員	杉浦 一徳	遠鉄タクシー株式会社 営業本部長
委員	平野 隆広	天竜浜名湖鉄道株式会社 常務取締役
委員	小松田 始（代理）	中部運輸局静岡運輸支局 首席運輸企画専門官
委員	山崎 友寛（代理）	静岡県 交通基盤部 地域交通課長
委員	佐原 功倫（代理）	静岡県 浜松土木事務所 維持管理課長
委員	日内地 昭広	静岡県湖西警察署 交通課長
委員	杉浦 徹衛	湖西市老人クラブ連合会 会長
委員	土屋 正征	湖西市社会福祉協議会 会長
委員	渥美 博之	新居町商工会 事務局長
委員	佐々木 由美子	市民委員
委員	山本 渉	湖西市 健康福祉部長
委員	内山 賀津高	湖西市 都市整備部長
事務局	疋田 行彦	湖西市 企画部 市民協働課長
事務局	佐原 敬	湖西市 企画部 市民協働課 公共交通係長
事務局	伊藤 明生	湖西市 企画部 市民協働課 公共交通係主任

配付資料： 会議次第

名簿

- (資料1) 平成29年度市内公共交通（バス事業）の運行結果
- (資料2) 平成29年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価結果
- (資料3) 運転免許証等自主返納無料乗車券の実施状況報告
- (資料4) 遠州鉄道路線バス「浜名線（湖西市役所系統）」の減便
- (資料5) 自家用有償旅客輸送の業務廃止
- (資料6) 「湖西市地域公共交通に関する評価基準」に基づく改善及び利用促進
- (資料7) 平成29年度湖西市地域公共交通会議決算
- (資料8) 平成30年度湖西市地域公共交通会議予算書・事業計画（案）
- (資料9) 平成30年～32年度湖西市地域内フィーダー系統確保維持計画
- (資料10) 特別運賃割引の実施について
- (資料11) デマンド型乗合タクシーの実証実験の中間報告・対象地区の追加・今後の方向性

## 1 開会

## 2 会長挨拶

平成 30 年度の最初の会議です。人事異動等で今年度より委員になられた方も、よろしく願いいたします。公共交通の話ですと、コーちゃんバスの利用者が平成 28 年度から伸びている状況であります。また、協議事項にもありますデマンド型乗合タクシーも運行しております、一定のご利用がある状況であります。運行範囲の拡大等も検討されておられるようですので、より一層のご利用をお願いしたいと思います。

## 4 協議事項

(都合により次第から変更) (1) 平成 29 年度湖西市地域公共交通会議決算報告

<委員>

- 資料説明 (資料 7)
- 質問なし

## 3 報告事項

(1) 平成 29 年度市内公共交通 (バス事業) の運行結果について

<事務局>

- 資料説明 (資料 1)

<委員>

- 年間利用者のうち、感覚的で結構ですので、学童の比率はどのくらいありますか。

<事務局>

- 平成 29 年度ではバス通学する学童が 45 人おりました。これを単純に授業日数の 190 日程度をかけますと、ざっとですが 6650 人ほどの利用があったのではないかと思います。全体が約 8 万 3000 人ですので、8%程度かと思います。

<委員>

- コーちゃんバスは乗車人数の実数を把握されているということで、運行されている浜松バスさんはどのようにカウントされておられますか。
- 再編などを含めて乗り継ぎダイヤの見直しということが書いてありますが、路線の見直しをされるのか、それとも 31 年度の運行に反映させていくのでしょうか。

<委員>

- バス全車両に乗降センサーシステムという、人の乗降を感知するセンサーがついております。そのデータ 1 カ月分、月末に吸い上げて集計したものです。個人がどこからどこまで乗ったかは分かりませんが、どの停留所で何人乗って、どの停留所で何に降りたということは把握している。

<事務局>

- 乗車率が少ないところについては、見直しをかけていきたいと考えている。また、路線の大幅な見直しについては、平成31年の10月に大きくダイヤ等の改正も計画しておりますので、そうした中で検討いけたらと考えている。

<座長>

- 自主運行バスが廃止されて、この4月と5月での傾向はどうなっているか。
- 土曜日の運行がなくなったことによる苦情などは出ていないか。

<事務局>

- 自主運行バスについては、平日と土曜日に運行していたが、土曜日は利用者が少ない状況であった。この4月については1,606名、5月についても1,679名で、1日の利用者は約80人という平均が出ているので、従来とあまり変わっていない。
- 特に苦情などはない。

<座長>

- それでは、皆さんで確認したということで、もし何かまた地元へお帰りになって、いろんな方とお話しされたときに、いろんな話が出てきたら、それを事務局のほうに伝えていただければありがたいと思うのでよろしくお願いします。ありがとうございました。

## (2) 平成29年度地域公共交通確保維持改善事業 第三者評価結果について

<事務局>

- 資料説明(資料2)

<委員>

- 資料2の14ページにある平成28年度の利用者と、先ほど説明頂いた平成28年度の利用者の数字が若干異なっているが、これは年度と年の違いですか。

<事務局>

- これまでの報告事項については、4月から3月をベースとしていますが、評価改善委員会は10月から9月をベースとして計算しているため、数が多少違う。

<座長>

- 国の補助が少し変則で、一般的な年度より半年ずれていて、そこに向けて6月までに補助申請書を提出するという形になっている。

## (3) 運転免許証等自主返納無料乗車券の実施状況報告について

<事務局>

- 資料説明(資料3)

<委員>

- 運転免許証を自主返納された方の母数は分かりますか。
- もう免許を返納しなければいけない思っている方が、全体でこの湖西市内にどれぐらいいて、そういう方々にどのような形でアプローチしていくかというのは重要だと思いますが、どのように考えていますか。

<事務局>

- 実際に返納している方の数は、はっきり申し上げると分かりません。しかし、危機管理課で免許書を返納された方に運転経歴証明書の発行手数料である1,000円を助成するサービスも行っていますので、そちらの数は把握していると思う。また、危機管理課にいらした方はおおむねバスの無料券をもらっている。

<委員>

- お尋ねいただければ返納数を出せると思う。しかし、湖西市の住民の方だけの数を出せるかどうかをこの場ですぐには申し上げられないが、やってみたいと思う。

<委員>

- 自主返納された方に市ではこういう取り組みをしていますということをご紹介することはできるんですか。

<委員>

- そうした紹介を行っている。

<委員>

- バスに関しても返納された方に回数券か、それと同額程度の洗剤をお渡ししている。

<座長>

- バスの皆さんもそうですが、タクシーの方もサービスをしていますか。

<委員>

- 県、協会でも1割の補助を行っている。

<座長>

- こういった話が自主返納された方にきちんと伝わっているのか。自主返納された方に、そういったサービスがあるのかを一緒に渡してあげることができないか。パンフレット1枚でもいいと思う。情報は2度渡ってもいいと思うので、どこがどう実施してもいいと思っている。
- 無料乗車券の使用状況はどのようにカウントしているのか。

<委員>

- 各路線、毎日バスの運転手が無料券を使用される方を手作業でチェックし、全部その都度メモして、それを集計した資料となっている。

<座長>

- 1ページにまとめられているので分かりませんが、大変な努力からこのデータが取れていることがわかりました。お手数をかけますが、ぜひ続けていただきたい。
- 無料券をもらった人が無料券を使用しやすいように、こういった使用状況の情報も公表すると、安心して使用できるようになるかもしれない。この無料券使用5,000件というのは、83,000の利用者のうちに含まれているのか。

<事務局>

- 利用者数に含まれている。

<座長>

- 7%程度の方が無料券を使ってくれている。こういった情報も出してほしいと思う。また、こちらにおいでのみなさまも、こうした話を持ち帰って話題にしていきたいと思う。よろしくをお願いします。

(4) 遠州鉄道路線バス「浜名線(湖西市役所系統)」の減便について

<委員>

- 資料説明(資料4)

<委員>

- 運転手不足という昨今の状況も理解するが、減便予定のものも全く利用されていないわけではないので、その方を今後どうしていくのか。そういった方針をどう考えているのか、現状でわかる範囲でお聞きしたい。

<委員>

- そういった方々に対しては、このような変更になりますという案内を、各バス停やホームページなどを通じてご連絡をさせていただくということで、しっかりとご利用される方に事前に分かるように公示をするということで対応していきたい。また、今回は学校絡みというところについては手を入れていないので、もしそういうことがあれば、事前に学校と協議やお願いをするというのは、ケース・バイ・ケースで対応という場合もあるが、今回については不特定多数の方という形でのご案内が主になると思う。

<委員>

- この路線はJRと並行して浜松まで走っているが、主な利用は学童ということでよろしいか。
- 乗降調査については年に1回のデータをもとにして提示されているのか。

- 地元の方に納得いただいて減便をすとか、バスをやめるということに合意いただいた上で学校とか地域とかというのがあれば、そういうところをご説明いただいた方がいいと思う。

<委員>

- 学生さんがメインであります、一部駅まで歩くと遠いというお年寄りの方が利用されている。
- 日々の運行データが記録されるような仕組みなので、それを振り返って調査している。したがって特定の1日を見て出しているのではなく、実際の運行した日のデータを基にしてこういう調査をしています。また、実態を見る中でどの対応をどうしていくかという判断基準に使っている。
- 現在この便しかなく、この便自体を完全にやめてしまうのか、という場合については、当然行政の皆さまと協議をしながら、地元に対しての説明をするべきだと捉えている。今回は完全になくしてしまうわけではないという中だと、先ほど申し上げたような形での告知でまずは対応し、これが本当に1日1便だけとか、なくなってしまうとかであれば、当然そういったご案内や協議をしなければならないと思っている。

<座長>

- 1日の運行本数がここまで来てしまってから慌てていたら遅い。ここに至るまでに利用促進であるとか、地元の皆さんにもこの路線がなくなると大変なことになるということを理解していただくように手を打っていかないといけない。去年あたりに手を打って、一生懸命努力したけどこうなったというなら、まだ地元の皆さんにも言えるというような話だと思う。半年前に申告すればよいというルールは理解しているが、できればより早く言っていただくと、何か手を打てたかもしれない。これからはこの残った3本で基準である15人を確保して、地域間幹線としての機能を果たしてもらうという努力を私たちはしていかなければならない。

<委員>

- シミュレーションを行っているのですがすぐに割れるということはないと考えている。しかし、この先も湖西市としてこの路線が地域間幹線である位置づけが重要であることには間違いありませんし、ぜひそういった利用促進については、我々だけではどうしてもできないところがありますので、そこについてご協力を頂きたいと考えている。

<座長>

- これからもデータはきちんと取っていただき、目標割れしないようにみんなで頑張らなきゃいけないということの状況を把握しながら進めていきたい。

(5) 自家用有償旅客運送の業務廃止について

<事務局>

- 資料説明(資料5)

<委員>

- この業務廃止の案件はこちらの会議の案件ではなく、福祉部局にある協議会で諮るものではない

か。

<座長>

- 運行の協議会はここで兼ねているという理解でよいと思う。福祉有償運送というのは、一般的には福祉有償運送運営協議会というのを各市町でつくって、そこで議論していただく。ただ今回は、組合さんの方から去年の段階で、こういう有償運送をやっていますという報告をいただいたので。

<委員>

- 別途、福祉有償運送協議会というものがある。そちらでは社会福祉協議会が福祉有償運送をしているという案件を扱っているが、今回の学園のものは自治体案件だということで、交通会議の所管だというすみ分けがされている。

<委員>

- 民間の福祉業者が福祉有償運送を行うものについて福祉運営協議会で協議するという形は、この十数年前ぐらいからだと思う。しかし、浜名学園はかなり昔から市町村運営の有償運送を行っていて、その形ができる前からこの有償運送の形をされていた経緯があって、恐らく市の公共交通会議で過去に取り決めをしていたと思う。また、今回は廃止なので報告ですが、更新の場合とかは当然協議必要になると思う。

<座長>

- 事後報告のようにになっているが、中身は変わらず無償になったという理解をしたいと思う。

## (6) 「湖西市地域公共交通（コミュニティバス）に関する評価基準」に基づく改善及び利用促進について

<事務局>

- 資料説明（資料6）

<委員>

- 減便する前にイエローカードのようなものを出して、地元で警鐘を鳴らすのは大切なことだと思うし、湖西市さんが取り組まれるというのは素晴らしいことだと思う。そこで、自分の乗っている便がどの便なのかを分かりやすく伝えることは重要ではないか。

<座長>

- 減便の判断はいつ、どの段階でみるのか。

<事務局>

- 8月から11月の乗車数を参考にして、取り組みを検討したいと思っている。実際の減便は翌年度4月を考えている。

<座長>

- 公共交通会議に諮ります、ということも書かずに、このまま続くとバスの運行回数を減らすことになり、という文章で進めてしまうのか。便を少なくすることが目的だということではなくて、利用を促進してもらおうということを市民の方たちに伝えたいのではないか。そうならば、いっごころまで努力をお願いしますとか、こういう数字をみますとか、そういったことを皆さんにお伝えしないとおかしいと思う。
- このチラシが回ってきたらどう思いますか。

<委員>

- 回覧で来たら、もうなくなるのかなという印象を受ける。

<事務局>

- ホームページと車内の広告については、減便メインではなくて利用促進の趣旨が見えるようなチラシに作成しなおすことを検討したいと思います。

## 4 協議事項

(2) 平成30年度湖西市地域公共交通会議予算(案)及び事業計画(案)について

<事務局>

- 資料説明(資料8)

<座長>

- 国の補助金は予備費に回す意図は何か。

<事務局>

- 事業を実施したのちに、国の補助金を差し引いた中で市の方へ組み戻す予定である。

<座長>

- 先に負担金を市の方から頂いておいて、補助金が入った分だけお返しするというで理解したいと思う。

(3) 平成30年～32年度湖西市地域内フィーダー系統確保維持計画について

<事務局>

- 資料説明(資料9)

<座長>

- 事業目標について、アンケートも含めて全部含めてしまう目標にするのか。来年度にバス利用者アンケートをやるとしていて、またそれを比較するとしてますが、予算も確保できていないのにやる予定で目標に書くのか。



<事務局>

- 今年度のアンケートについては予算が確保できておりますので、実施する方向でいる。それ以降については補助金の関係もあるため、運輸支局の方と相談をして記載するかしないかを検討したうえで整理したい。

<座長>

- この書類は毎月いっばいの申請期間ですので、今あったように若干整理できていない部分は支局と相談しながら進めてもらう。そして会長と私の方でチェックして申請したいと思っている。この条件でご了承いただきたい。

#### (4) 特別運賃割引（夏休み小学生1乗車50円バス）の実施について

<事務局>

- 資料説明（資料10）

<座長>

- 夏休みの前には配布されるのか。

<事務局>

- 来週にも配布することを考えている。

<委員>

- 去年のチラシから利用プランが書かれていて、そういう風を書いてあると子ども同士で約束したり、親も見たりしやすいので、今年も同様の形式が良いと思う。

<事務局>

- ありがとうございます。夏休み前には小学2年生を対象にした、バスの乗り方教室も開催しており、その時にもこういった使い方が出来るのかを口頭で説明する予定でいる。

#### (5) デマンド型乗合タクシーの実証実験の中間報告・対象地区の追加・今後の方向性について

<事務局>

- 資料説明（資料11）

<委員>

- 8月1日から追加されるということだが、この区域にはすでに遠鉄タクシーさんが入られているのか。また、接続点というか目的地は変更があるか。

<事務局>

- 白須賀地区でやっている。また、目的地などの変更はない。

<委員>

- 運行結果で白須賀第5地区の利用が極端に少ないのはなぜか。
- デマンド型乗合タクシーの実利用者数もみているのか。

<座長>

- 別の市でも実利用者数を出してもらって、総会数は多いけれど、利用者の数としては3人しかいないということがあった。今回も登録の人数ということを定義しておくなら、実利用者数が何人かということをしっかり押さえた方が良い。多分これは延べ人数だと思うが。
- 今後、白須賀地区の人たちにもう一度どういうチェックをします、というものをしっかりと確認してもらうのはあり得ると思う。実証実験、実証運行という話で、そういうデータをちゃんと取りますということ。第3地区、第4地区は結構人口もあるので。
- バスとの関係はどのようにするのか。

<事務局>

- 今回出している数はおっしゃる通り延べ人数である。
- 利用者の意見や地元の協議会の意見で、やはり第3地区、第4地区も含めた方が良いという意見が多かったため含めることとした。そのため、コーちゃんバスと重複する地区が発生するので、地元と協議したい。

## 5 その他

<事務局>

- 次回の地域公共交通会議は9月ごろを予定しており、詳細が決まり次第連絡をする。

## 6 閉会

<事務局>

- ・以上をもちまして、平成30年度第1回湖西市地域公共交通会議を終了いたします。

以上